

エロカマ

FILE:03 劣等性アイドル臍姦セッション



終わり



HO



3D 「いいよ〜」

ヤハイせ!
ヤハイせえ

仕事なんて
してる場合じゃ
ないぜっ

「ハイ♪いいよ〜」

カシヤ

カシヤ

「視線こっちね〜♪」

「どうしたの?
顔色冴えないみたいけど?
お疲れかな?」

STD
AUTO
AWB

カシヤ

「ハイ…最近忙しいもので、
ちょっと」





(次、落ちたら退学だぜ)
「あの…もっと男の人にアピールするのは
どうすればいいんですか？」

「えっ!?!」

あかりちゃんも
スマレちゃんも

王口カツ進級試験
二発合格…

私だけ二度も
落ちて
未だ不合格…
やばいぜえ！

「そうだねえ足開いでえ～お尻つきだす感じなんかいいかなあ～」

「おおっ♪そうそうっ挑発的い〜♪」

「いいよっいいよお〜♥」

(貧乳のくせにやっぱ女の子だねえ)



んんんんん〜

(華奢ささな身体のくせにヒップラインは
しっかりしてる)

(ケツとか結構でかくてたまりませんなあ♥)

(うはっ♪結構モリマン♡)

(少年体系とのアンバランスが
一層そそりますね♡ヤリてえ〜)

ふふん♪

私のお尻見て…
興奮してるぜ!

私だって女の子
ヤれるぜ!

(よせっ…お前らっひなきちゃんに聞こえるぞ!?)

「ほほう♪水着の下はニブレスに紐パンとはやる気十分みたいだね♪」

こうして、ひなきは何でもする覚悟で三回目のエロカツに望むのであった…

一年
新条ひなき

三回目の
エロカツ試験
お願いするぜ

「元気だけはいいようすな♡」

「何か、吹っ切れたのかな♪」

「楽しみですなあ♡」

エロガク

FILE:03 劣等性アイドル臍姦センセーション

(私にも絶対やれる!!審査員のチンポ、
おそるるに足らず!!)

(抜きまくって合格してやるぜ♪)



Presented by PCes II for adult only

ひなきは背水の陣でエロカツ進級試験に臨んだ…それ、すなわち
審査員12人のオヤジチンポにむしゃぶりつきSEXする事だった

「どこが気持ちいいんだ？
答えなさい♪」

「本気で逝くんだ♪
でないと不合格だからな」

はは、オマンコの奥…
子宮の下の方までささぐ
ってささぐらうわ〜

ほほう♪
どうかな？

さっす
んっっ
〜んっ〜

「アナルにも入れてサンドイッチにして
弱点を擦りましょう」

「おおっ♪やはリソレですなあ」

「おおっ締まるっこりやたまりませんなあ♪」

「ほらっもっと自分で腰を振って
逝きなさい♥」

はももゆび〜「普通で
いい」



ああっ逝くっ
逝くっうっうっ

くっくっくっ

ズ
ン

ズ
ン

「まだP学生なのに全穴同時SEXで逝くとか、
ど変態アイドルが♪どんな気分だ？」

「き…気持ちいいれしゅ〜
ああっまた逝くう〜
らめえ〜死んじやう〜」

「変態アイドルが監視を掻い潜り彼氏とやりまくってんじゃないのか？」

「彼氏なんていません！先生方だけれしゅ〜」

「本当かあ？」

「はいいいいい〜♡」

「たまりませんなあ〜」

「中に出すぞ♪変態アイドル」

「中はやめれくりゃしゃい〜妊娠しちゃう〜」

「いやっなのか？なら、不合格で落第だぞ！」

「中に下さい〜♡」

「妊娠したいか？」

「はい〜ひなきを妊娠させてくりゃしゃい〜♡」

審査員の外道オヤジ達は、そう嘆願するひなきをせせら笑いながら次々に中出したひなきはそのつどピクピクと痙攣し本気で逝くのだった

あかりちゃんスミシちゃん

「さっきより緩いぞ…アナルもマンコも開いたまま
戻りませんなあ」
「これは不合格だな♪」
「ご免なさい…
マンコしっかり締めますからSEX続けて…」

「大量の浣腸で
腹膨らませば
マンコ締まるでしょ♡」

か…浣腸して…
オマンコ締まる様
にして…くださる…

「それはいい♡」
「はぁぁぁっ!?!」

「嫌なのか?ならっ不合格確定がいいのかな?」

助けてえ私…
おかしくなるう

うむ…♡





わしらの精子や小便を
ブレンドした特性洗腸じゃ
たっぷり味わえよ

ひなきSSSSSE

裂けるうゝお尻の穴があ
お腹がめ裂けちゃいます
もうっ無理いゝ

それじゃ腹パンパンの
挿梅をっ

いや凄いな
まるで妊婦ですな

ひなきは腹をパンパンにされた…これで終わりではない
これは只の前ふりて、そのまま騎乗位でのSEXを要求された

「いやああっ出るっ出ちゃっ〜トイレにい
早くトイレに行かせてください〜」

「うんち洩らしたらその瞬間不合格決定じゃぞ♪
そう言って挿入し、嘲笑いながら
これでもか、とばかりに突き上げた

「あああゆ無理い許してえ〜
ああっ〜逝くっ〜ああっ
出るっ〜ああっ〜」

ひなきは迫りくる便意を必死に耐えた

「うおおっ♪締まる〜こりゃたまらん」

「いやあああ〜激くしちゃ〜ダメエ〜」

悶絶するひなきの身体を
三人が次々と味わい
腹パンマンコに中出しした…

ひなきの尻の穴はヒクヒクし
いつ浣腸液を噴出しても不思議ではない状態なのは誰の目にも明らかだった

出ちゃっ出ちゃっ出ちゃっよめ〜

ダメエ〜また逝くっ〜

アイドル失格だぞ
うんのかねっ

嫌あああああああ〜

ゆ
さ

「もう少し楽しみたいからのう♪」

そう言って
外道審査員の一人が、尻の穴にストッパーを突っ込んだ

「うああああああっ!?!」

「もうっ無理ですう〜」

「限界を超えて逝きまくりなさい♪」

「逝くっ逝くっ逝くっ〜」

「逝くっ逝くっ逝くう」

「こりゃたまりませんなあ」

「もうっわけわかんない〜」

お…おかしななっちゃんっ〜

なりなさんで
今日でアイドル終業じゃ

…嫌あああああ〜

脱糞による落第は回避できたがエロカツ試験が
終わった訳ではない…ひなきは
囁らずも腹パン状態のままSEXを続けるしかなかった



ゴッゴッゴッゴッ

ゴッゴッ

ゴッゴッゴッ

ゴッゴッ
見なごっ

ゴッゴッまた、派手に遊つたのっ

そしてチンポが引き抜かれたのと同時に体内のブレンド男汁を大量に噴出した
排便の快楽が少女を更なる絶頂へと誘っていた

「いや～最高でしたなあ腹パンマンコ♥」

「あの締めりはあ♪」

「本気のSEXでなかなかよかったぞ♥」

「浣腸もよく耐えた♪

ひくつくマンコを十分味わえて満足じゃ」

「じゃあ♪これで合格ですね」

(私もヤツタよりあかりちゃん、スミレちゃん)

えっ…!?

「それは、まだじゃ…」

「特別審査員の方にも審査してもらってからじゃな…」

ひなさは驚愕した…そこにはスポンサーのおえらいさん30人が特別審査員としてチンポをギンギンにして待機していたのだ

既に通常審査員12人と本気のSEXをし限界を超えて逝きまくったひなさの身体には正に地獄の様な展開だった…だがしかし…

ヤリますう…

嫌なのかね？ならっやめてもらいたよ

只、不合格たかね

嘘よ…オマンコ痛いしもうっ逝さたくない…死んじやう…

なら、今度は仰向けになつて股開きなさいよ

ハイ！



スポンサーオヤジ達は審査員達と、ひなきの凄絶なSEXを見ていたため既に興奮してチンポを勃起させていた

そんな連中の中心で、ひなきは借しげもなく股を開き全てを晒すのだった

たまりませんなあ♥

ひなき

「麻アイドルですからなあそれがアナルまで♥」

こんな娘を好きにできるオヤジ

ガッガッガッ

身体は既にボロボロだったが、ひなきの性感帯は未だにMAX状態にあったのに外道審査員達はスポンサー接待のために更に感度を上げるべく強力媚薬を用意し渡したのだった

「それじゃお先に失礼♪」

「いきなりアナルですか!」

巨根がいきなり、ひなきのアナルに挿入された
媚薬の効き目か!?

ひなきは下半身を痙攣させながら失禁し
これを迎えた

たまりませんな
では、前にも♪

嘘っ嫌なのにいさつきより…逝くっ逝っちゃうっ

待つてダメえ今は

コレ太いっ硬いっ
お尻の穴裂けちゃう

カッパカッパ

ズッ
ゴッ
ゴッ

シツ
ク
ク
ク



「逝く!?逝く!?逝く!?逝く!?逝く!?
逝く!?逝く!?逝くう~!?!」

媚薬が効いたのだろう...ひなきは
これまでにない
わけのわからない絶頂に陥っていた
そして...

アナルの私には顔が見れないのが残念ですなあ

後で画像を確認すれば
よからうが
永久保存版の顔しとるぞお
コヤツ

アイドルがアホなアム顔
晒して逝ってあるぞ

パンがのっぴりで絡んできめるぞ

おおっこれは気持ちいい

ズ
コ

ズ
コ

失神した…

「変態アイドルが、まだ」のくせに
完全に逝き果ておったぞ♪」

外道審査員が言う

「申し訳ありません、教育がなくて
続けてもらってかまいませんので」

「いいのかね？」

「はいもう落第決定の廃棄アイドルですから
お好きにしてもらって結構です」


「そりゃ可哀想に♪」

私、一度、失神してる女とやりたかったんですよ

まあ最後なら、
たっぷり可愛がって
やろうぞい

私も…♪

外道オヤジ達は、そう勝手な事をほざきながら失神したままの、ひなきの身体を弄んだ



外道オヤジ達が次々に、ひなきを犯し中出ししていった
若い身体は乳首やクリを勃起させたままチンポを受け入れ
射精される度にビクビクと激しく痙攣した
が…意識はまったく無いようだった

ひなきはその間、まったく起きなかった

スポンサーオヤジ連中のほぼ全員が一度失神ひなきに射精したところで
外道審査員から、そろそろひなきを起こそうと提案がなされた
そう…エロカツ進級試験はまだ終わらないのだ

「起きろっ新条〜」

「スポンサー様に失礼だろ」

そう言って外道審査員が
ひなきの首を吊り上げた
が、
この程度では起きはなかった

そなたもAVに
勃起してゐる乳首と

うおっこれはっ
電気ショックだ

更に乳首とクリトリスに電極針が突き立てられた...

そして...

クリトリスが...

まうたく怠惰なお前も
これなら起きるだろっ

んんん!!?



ひなきは絶頂し真っ白な頭の中で自分が今、
エロカツ進級試験中であつた事を再認識した

ボロボロの身体と朦朧とする意識下でなお、
アイドルを続けたいと願い
全てのチンポを受け入れた



チンポ

ギャあめめめめめ!!?

まだ学生でしてん
おさんですかねえ
なんまっくらやん

凄じい痺撃

お気になさらず
お楽しみください

マンコバクバク
してますよ

不合格で退学だぞ
いいのか?

困らうアイドルなら
しっかりスポンサー様
のお相手をして下さ



ひなきは通電されたまま
スポンサーオヤジ30人の相手をさせられた

当初、遠慮がちだった
オヤジ連中も
ひなきの
ど変態淫乱アイドルぶりに

同情の気持ちも失せ雌豚として認識し
口汚く罵りながら

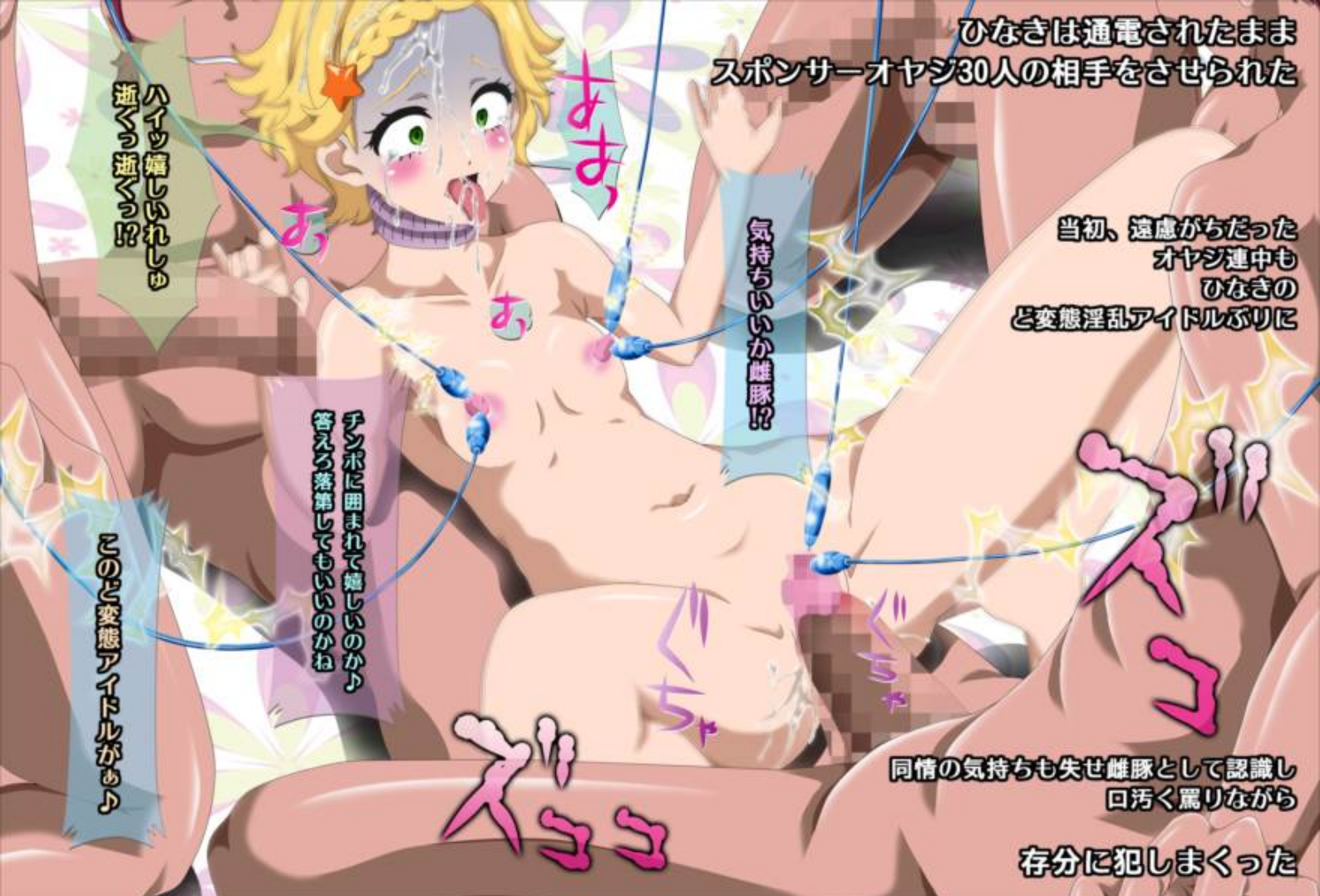
存分に犯しまくった

気持ちいいか雌豚!?

チンポに囲まれて嬉しいのか
答える落第してもいいかね

ハイっ嬉しければ
逝っ逝っ!!

この変態アイドルがっ



ひなきはついに耐え切れず発狂し、また失神した
失神というよりは臨死状態に近かった

それほどまでに…ひなきは心身共に
正に死ぬようなダメージを受けていた

失神したから
許されるとても♪

わしらが満足するまでは
死んでも終わらんとぞら

いじですよね♪続けても…先生方

勿論です♪存分にお楽しみください

アズカバヤ

だが、これでも終わらなかった
スポンサーオヤジ連中は完全に

鬼畜外道モードに入っていた…ひなきの身体は更に弄ばれるのだった

「起きなさいっ 変態雌豚アイドル♪」

そう言ってスポンサーオヤジの一人がフィストファックを敢行

「かひい!?!」

(嘘でしょ〜ひなきのオマンコに腕がぁ)

ジャブの様に子宮にパンチした

「あふっあふっ!?!」

それと同時に電圧も上げられた

「ひぎゃあああ!?!」

ソ」はラメエもっ
止めてえお願いさ

気持ちいいか
答えなさい♪

壊れるっひなきのオマンコ
壊れちゃうっ止めてえっ

駄目じゃんっと逝っしてみせなむら

ひなきは絶頂状態のまま覚醒し
朦朧とする意識でまたチンポにしがみついた



(私、もうっダメみたい…)

(サヨナラ、あかりちゃん、スミレちゃん…)

事ここに至ってひなきも漸く気がついた
自分はオヤジ連中の性処理人形にされて
壊されて捨てられるのだと

不合格で落第、退学でアイカツ終了

その絶望感から逃れてたいがために
ひなきは自ら腰を振り更なる絶頂感を求めた
「笑ってますよ♪この娘…」

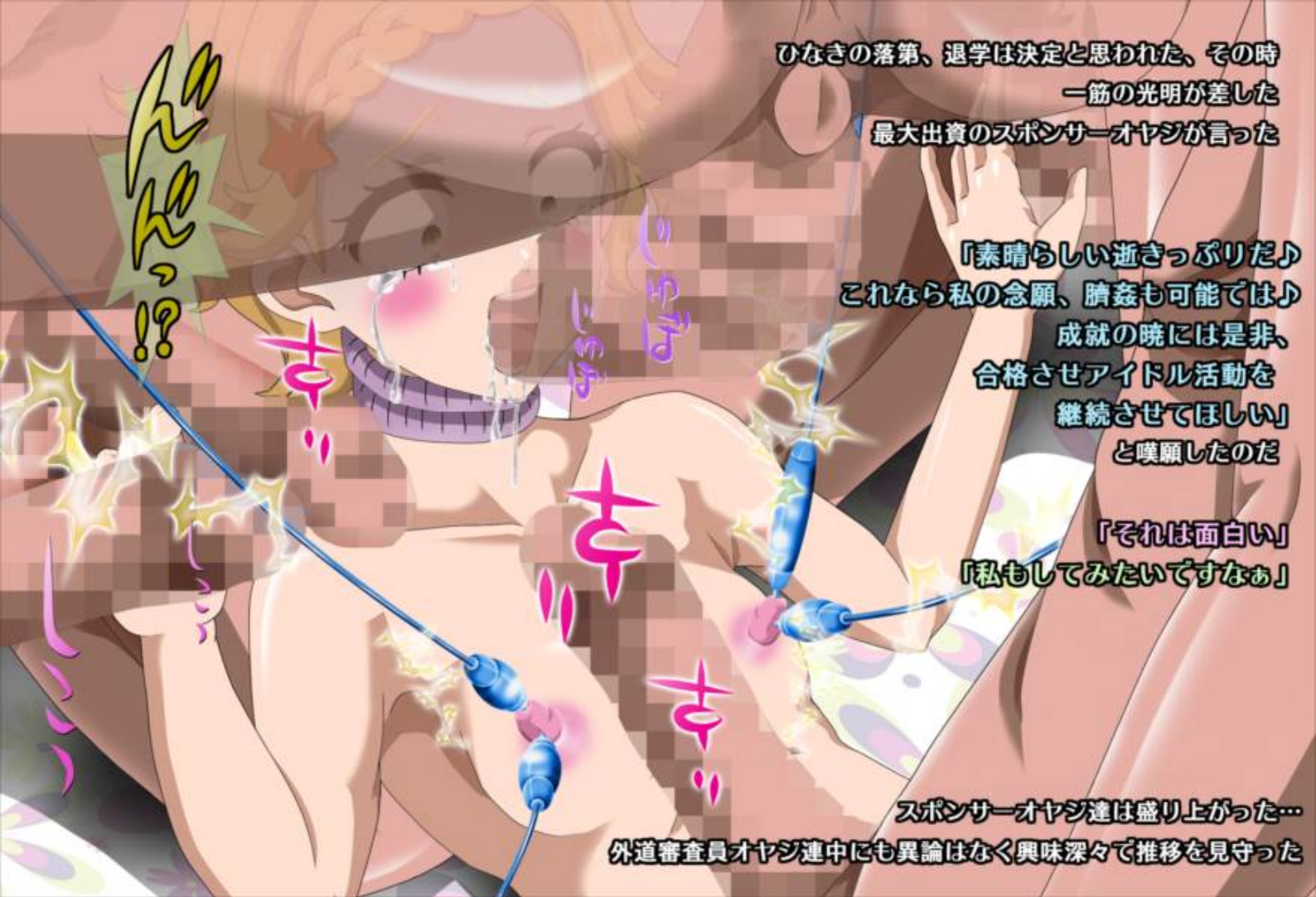
「」がする顔ではありませんなっ♪」

外道審査員達が笑いながら言った
「完全に終わりましたなっ…新条ひなき♪」「ですなっ♪」

もっと…逆かせて…滅茶苦茶にしてえ…

あはは…チンポ…
チンポ…ちんぽ…

知らないうちにチンポとSEXして
逝くの…大好き…もっと…

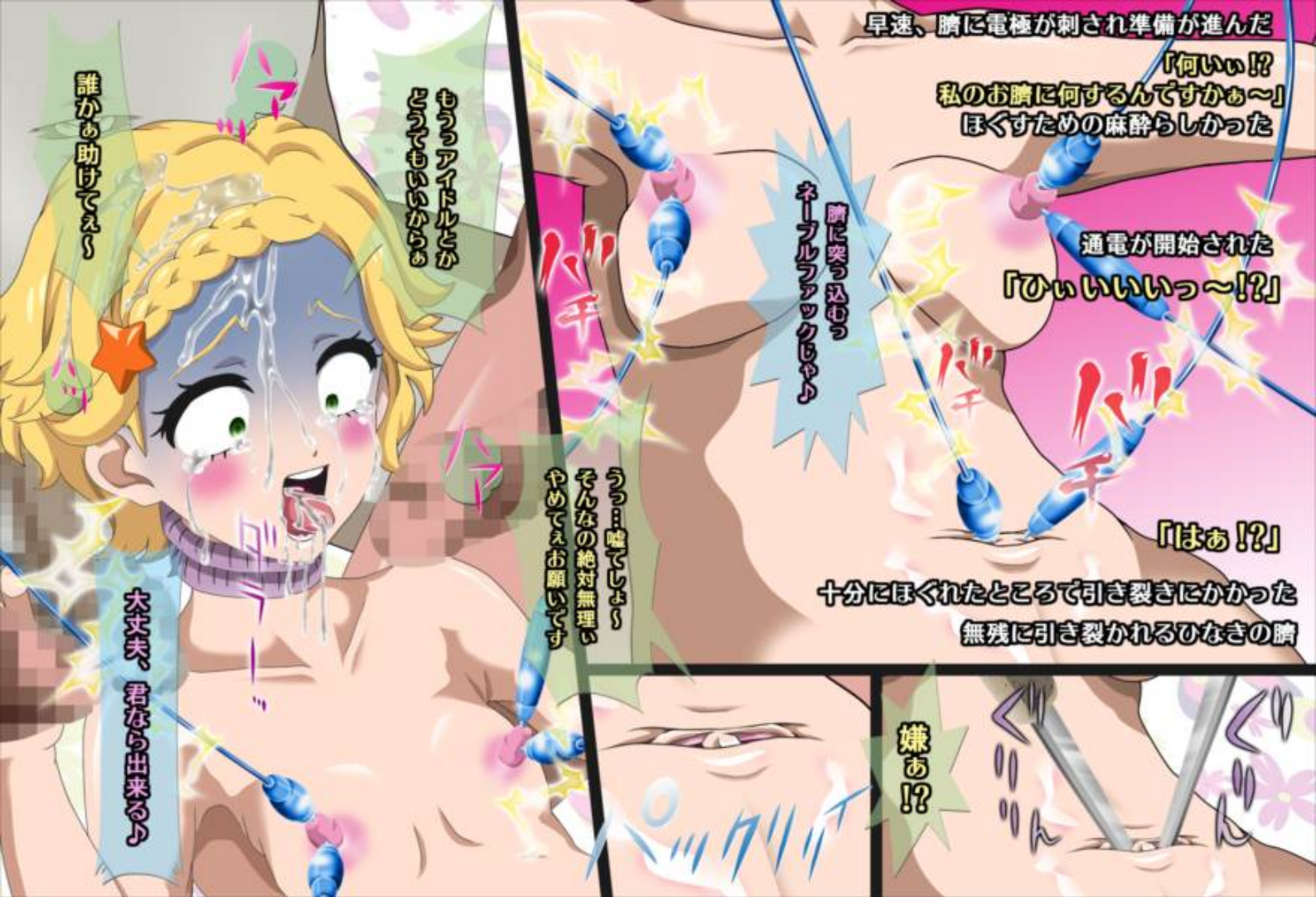


ひなきの落第、退学は決定と思われた、その時
一筋の光明が差した
最大出資のスポンサーオヤジが言った

「素晴らしい逝きっぷりだ♪
これなら私の念願、臍姦も可能では♪
成就の暁には是非、
合格させアイドル活動を
継続させてほしい」
と嘆願したのだ

「それは面白い」
「私もしてみたいですなあ」

スポンサーオヤジ達は盛り上がった…
外道審査員オヤジ連中にも異論はなく興味深々で推移を見守った



早速、臍に電極が刺され準備が進んだ

「何いい!?

私のお臍に何するんですかあ〜!
ほぐすための麻酔らしかった

通電が開始された

「ひいいいっ〜!?!」

「はあ!?!」

十分にほぐれたところで引き裂きにかかった
無残に引き裂かれるひなきの臍

臍に突っ込むっ
ネーフルファックじゃっ

うっ!嘘でしょ!
そんなの絶対無理い
やめてえお願いです

嫌あ!?!

誰かあ助けてえ〜

もっつアイドルとか
なんでもからめ

大丈夫、君なら出来るよ

「ほらっ♪入ったあ」

「かひい!?!」

「気持ちいいか?」

そう言ってスポンサーオヤジがひなきの臍を突きまくった

私っ…私…

なのになのにな

ああっあああゝ

こんなの嫌ああゝ





エロがツマンだっア

ア
ア
ア
ア
ア

ダメエソコはあ
お願い止めてえ
突かないでえ

ア
ア
ア

逝くうううううう!!?

ネーブルファックで遊ばましたぞっ
このと変態淫乱アイドル娘 ♡

「ひぎゃあああああ〜」

ひなきが絶叫しながら逝った

臍姦で子宮内を直接チンポで掻き回されたあげく
弱点である子宮口を内側から突き出され…超絶頂
全体液を噴出しながら逝っていた

「見なさいっ私の思った通り♪このど変態娘は
臍姦で逝けるんですよ♥」

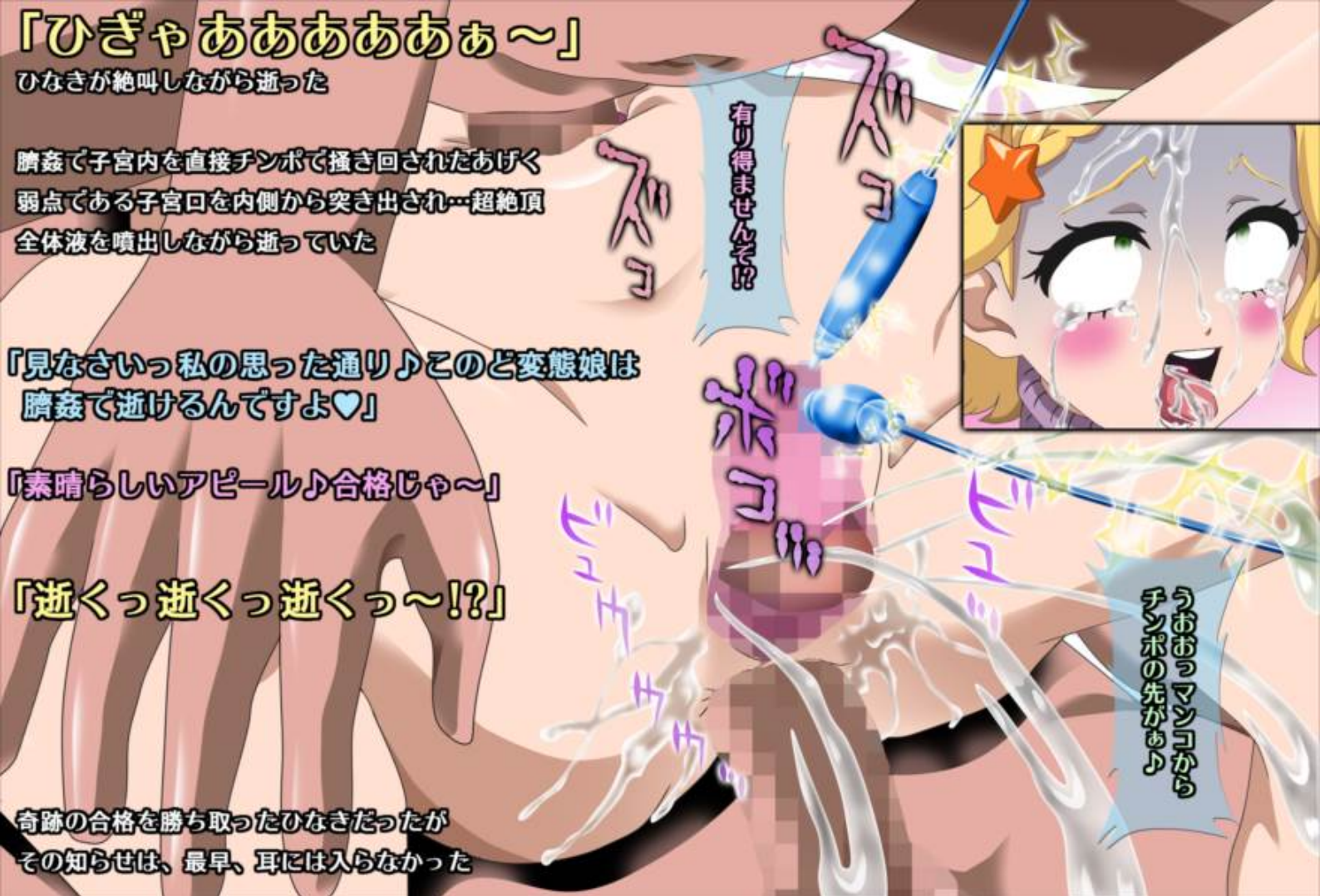
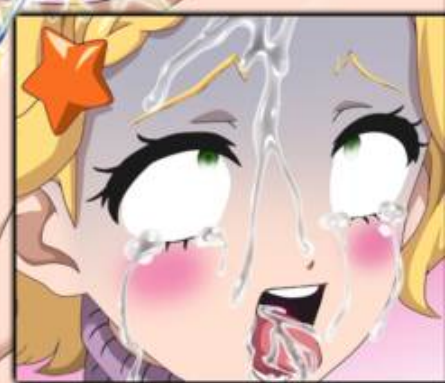
「素晴らしいアピール♪合格じゃ〜」

「逝くっ逝くっ逝くっ〜!?!」

奇跡の合格を勝ち取ったひなきだったが
その知らせは、最早、耳には入らなかった

有り得ませんぞ!?

うおおっマン!から
チンポの先がぁっ



「止めてえ!?壊れるう〜んぐっ!?!」

その後も

興奮したスポンサーオヤジ達は、ひなきを犯し続けた

どうじや内と外から子宮口を
サンドイッチ・ファックじゃ
気持ちいいか答えないわい

んんんんんんっ!?!

ズッ

ズッ

ひなきが沈黙するまで延々と全穴を...

娘より若いアイドルが膣まで犯される四穴同時乱交とは

大興奮しますなあ

「いやぁ～最高でしたなぁ！
若いアイドルのマンコを使い切って
再起不能にする♪」

スポンサーオヤジ達は、ひなきを完全沈黙させ満足気に言った

「人間き悪いですなぁこの娘はまだまだ
現役アイドルとして活躍するのですから♡」

「おっと失礼、そうでしたなぁ！」

では、
引き上げますかな♪

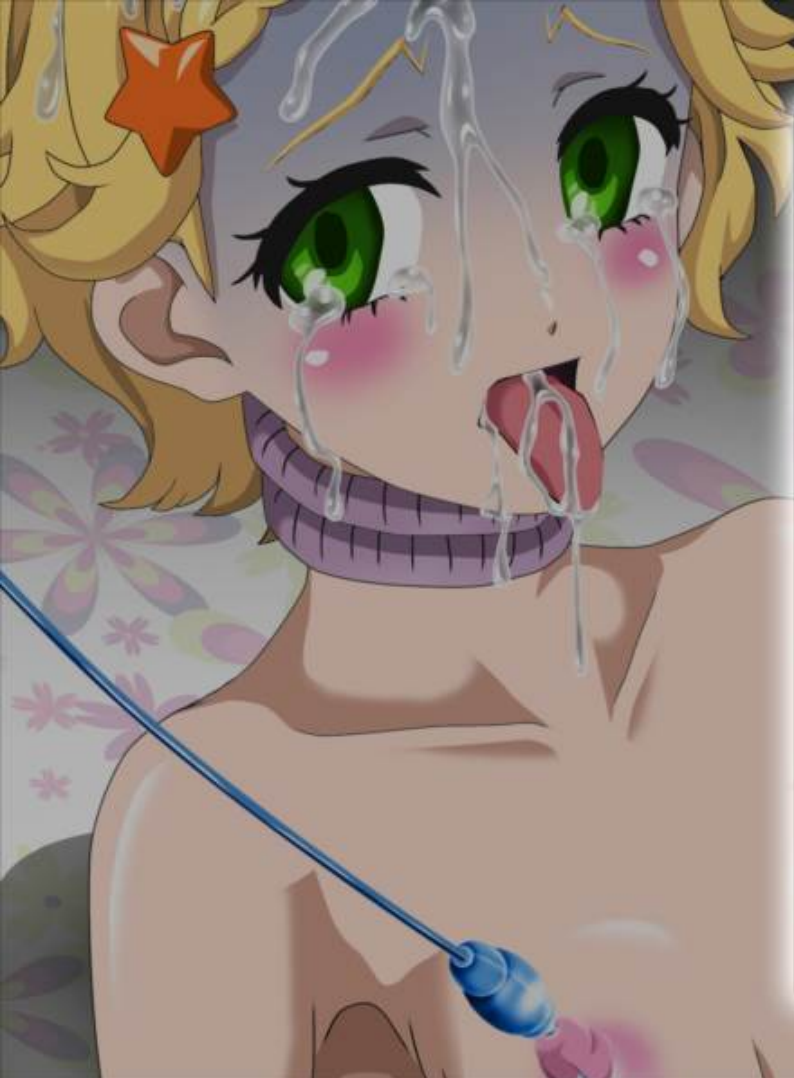
「これからもアイカツ！頑張りたまえ応援しとるよ」

ひなきは介抱もされず
そのまま放置された
貫通アイルドも起きたら
自分で抜いて撤収するのだ

外道審査員曰く
それもセルフプロデュース
だそうである

おわり





Thank you very much

企画/監修：**MARO**

ダウンロード開始日：2016/10/15

製作/発行

柿ノ本歌麿監修18禁同人製作工房 **かき@ぼう**

制作：レーベル **PCee II** ページズ

当サイトへの感想等は、下記の柿ノ本歌麿のHPへお願いいたします

kaki-pee.com

kakipee2006@yahoo.co.jp

著作権および複製権等の権利は、本誌の一部または全部を任意で複製することを禁じます。
本誌は 成人向けです。18歳未満の方の購入はできません。

そして後目...

ひなきはビーチでの撮影に臨んでいた
「いいよ、いいよおひなぎちゃん♡」

「最近、何か色っぽくなったねえ～
何かあったの？」

メカメカ

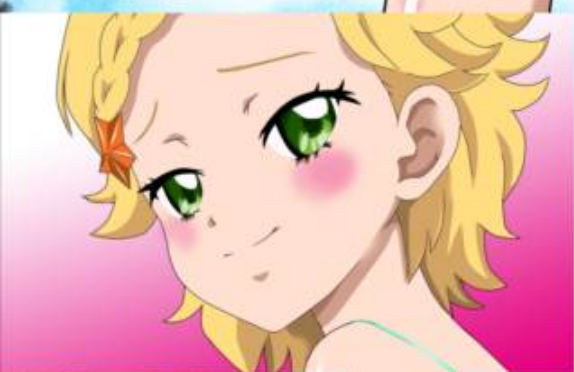
メカメカ

メカメカ

ないですよ
今は仕事で恋人ですしい

「またまたあ～そう言う事にしとくよ♪」
(貧乳のくせに腰つきとかエロいぜ♡)
(ああっ実はやりまくりなんじゃねえ～の♪)

「お臍のピアスも可愛いねえ♡」



「そうですか♪」
「ありがとうございます」

何も知らずに、無邪気にお世辞を言う
スタッフ連中に引きつった笑いでひなきは答えるのだった

(この後、またあのオヤジたちと…)

「どうかした？」

ひなきは、例のスポンサー連中に
気に入られ月一でエロカツを強要
されていた

ええ…別に

今日は、この後…そのエロカツが予定に入っていた



「それじゃ♪今日もネーブル・ファックで
悶え狂えよ雌豚♥」

スポンサーオヤジが言った…どんなに嫌でも
ひなきは、臍を開き、
こう答えるしかなかった

ハイ喜んで♥

これが彼女のエロカツなのだから